

- [illegible]

野生いのししでの豚熱対策の概要

(1) サーベイランスの強化

豚熱

アフリカ豚熱

【野生イノシシ検査情報 QRコード】

- 平成30年9月から、**全都道府県**における**野生イノシシ**のサーベイランスを開始。
- 令和2年8月31日に**全都道府県**に向けて**豚熱・アフリカ豚熱**のサーベイランスの強化通知を発出。
- 令和3年11月、新たな遺伝子検査法の導入及び外部委託体制の整備により検査負担軽減。
- 令和4年4月、web上で生産者自ら農場周辺の検査状況を確認可能な新たな地図情報システムを提供。



(2) 捕獲の強化

豚熱

アフリカ豚熱

- 自治体、農林水産省及び環境省が連携し、**豚熱陽性が確認されている県及びその隣接県等46都府県**に「**捕獲重点エリア**」の設定を依頼。

(3) 経口ワクチン散布

豚熱

- 平成31年3月、岐阜県及び愛知県において、経口ワクチン散布を開始。
- 令和3年3月から民間ヘリコプターによる空中散布を実施（静岡県・栃木県）。
- 令和5年3月に散布方法の具体化等のため散布方針を改正。
- 現在、豚熱陽性が確認されている県及びその隣接県等**39都府県**のうち、沖縄県、青森県、千葉県を除く**36都府県で経口ワクチンを散布**。

(4) 感染防止のための周知等の推進

豚熱

アフリカ豚熱

- 山林作業や観光客等、山林に立ち入る者に対して、デジタルサイネージ広告の実施や多言語ポスターの提示・配布等により、周知の推進。
- 捕獲従事者に対して交差汚染対策周知のため、映像資材・漫画資材の配布。

(5) 法改正・制度的整理等の対応

豚熱

アフリカ豚熱

- **サーベイランス、経口ワクチン散布等を家伝法に位置付け**（令和3年4月施行）。
- 野生イノシシの死体処理に関する制度的整理及び関係部局の連携強化について、消費・安全局長、農村振興局長、林野庁長官、環境省環境再生・資源循環局長、環境省自然環境局長による**5局庁長連名通知の発出**（令和4年3月）。
- アフリカ豚熱の防疫措置の具体化（基本方針の検討、演習の実施等）。

【34都府県で豚熱陽性野生イノシシを確認】

豚熱感染野生イノシシ発見地点
（令和5年9月6日時点）



野生いのししサーベイランス検査状況(令和5年9月6日時点)

直近1カ月のサーベイランス検査状況

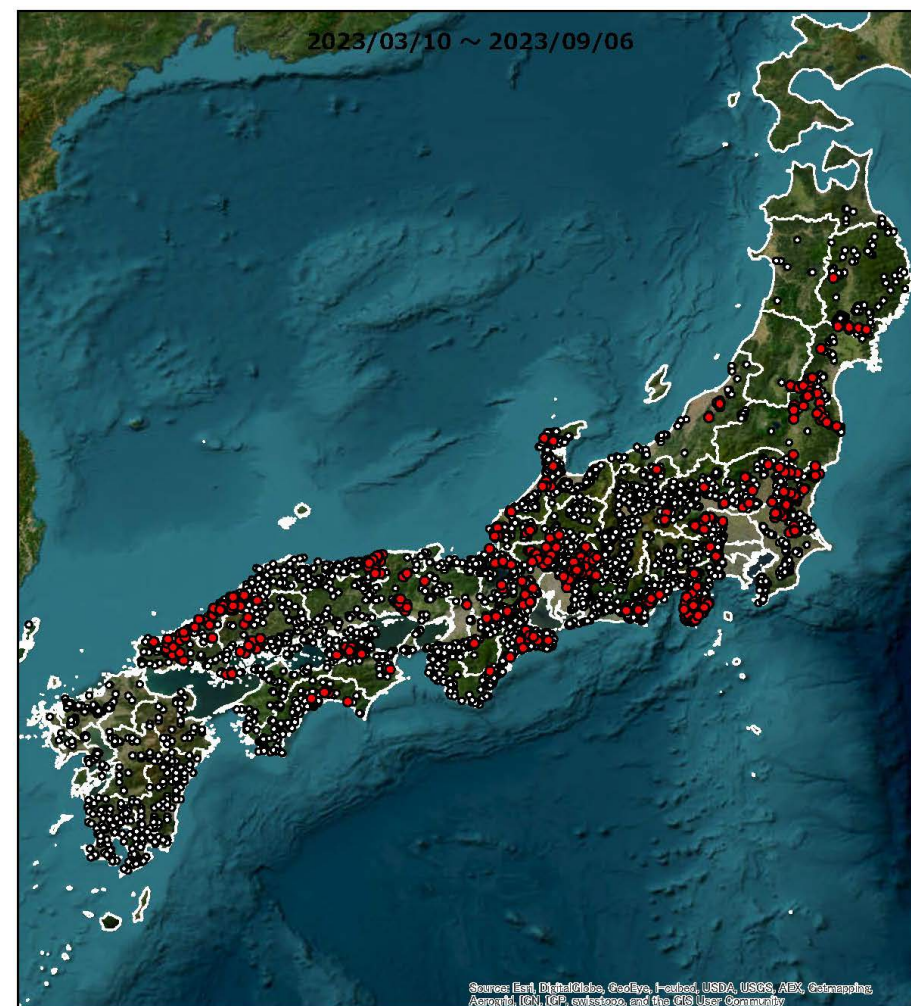


PCR検査

- PCR陽性
- PCR陰性

0 100 200 400 km

直近6カ月のサーベイランス検査状況



PCR検査

- PCR陽性
- PCR陰性

0 100 200 400 km

野生いのししサーベイランス検査状況

野生いのししのサーベイランス

○ 平成30年9月から全都道府県における野生いのししのサーベイランスを開始

※ 農水省がR3年度以降に最低限必要と通知している検査水準：1県当たり299頭／年

：検査数が299頭以上

：検査数が299頭以上かつ陽性数が0

＜令和3年9月30日時点から過去1年の検査数＞、＜令和4年3月31日時点から過去1年の検査数＞、
＜令和5年3月31日時点から過去1年の検査数＞、＜令和5年8月31日時点から過去1年の検査数＞の比較(カッコ内は陽性率)

	R2.10.1～ R3.9.30	R3.4.1～ R4.3.31	R4.4.1～ R5.3.31	R4.9.1～ R5.8.31	増減
北海道	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0
青森	5(0%)	6(0%)	8(0%)	15(0%)	10
岩手	313(0%)	399(0%)	423(22.7%)	300(11%)	-13
宮城	232(12.5%)	484(26.9%)	370(13.8%)	384(13.8%)	152
秋田	42(0%)	39(0%)	55(12.7%)	60(8.3%)	18
山形	220(7.3%)	370(32.2%)	278(4.3%)	275(3.6%)	55
福島	302(7.3%)	214(10.7%)	159(16.4%)	244(9.8%)	-58
茨城	819(12.5%)	981(15.4%)	1168(8.2%)	1243(11%)	424
栃木	565(9.2%)	490(17.3%)	633(6.2%)	646(6%)	81
群馬	883(7.6%)	653(4.1%)	961(3.3%)	965(1.9%)	82
埼玉	447(1.8%)	538(0.6%)	762(2.9%)	791(3.9%)	344
千葉	65(0%)	78(0%)	278(0%)	732(0%)	667
東京	56(7.1%)	89(1.1%)	130(0%)	84(1.2%)	28
神奈川	566(6.7%)	469(8.3%)	377(10.1%)	357(3.1%)	-209
新潟	205(15.1%)	219(4.6%)	224(3.1%)	254(4.7%)	49
富山	330(0.6%)	327(0%)	609(1.1%)	800(0.6%)	470
石川	239(5.4%)	239(2.9%)	675(2.8%)	719(2.2%)	480
福井	498(15.3%)	337(13.6%)	402(2.2%)	446(5.8%)	-52
山梨	187(17.6%)	143(7.7%)	209(0%)	211(0%)	24
長野	692(3.5%)	845(0.5%)	918(0.2%)	1001(0.3%)	309
岐阜	2122(0.7%)	1991(1.3%)	2675(4.2%)	2629(7%)	507
静岡	2676(2.8%)	3003(2.2%)	3912(3.5%)	3970(3.7%)	1294
愛知	787(0.1%)	991(0.7%)	906(3.1%)	783(3.7%)	-4
三重	3004(10.8%)	3763(8%)	4809(3.2%)	4470(2.5%)	1466

	R2.10.1～ R3.9.30	R3.4.1～ R4.3.31	R4.4.1～ R5.3.31	R4.9.1～ R5.8.31	増減
滋賀	473(7.4%)	452(9.1%)	549(5.8%)	694(4.8%)	221
京都	267(32.6%)	228(33.3%)	51(13.7%)	57(0%)	-210
大阪	25(60%)	13(84.6%)	63(0%)	90(1.1%)	65
兵庫	496(8.9%)	538(18.2%)	690(10.7%)	584(8.7%)	88
奈良	138(28.3%)	128(9.4%)	216(1.9%)	227(3.1%)	89
和歌山	387(26.6%)	307(28.3%)	306(1.3%)	435(0%)	48
鳥取	215(0%)	301(0%)	416(1.7%)	525(6.1%)	310
島根	130(0%)	283(0%)	410(14.9%)	447(15.9%)	317
岡山	49(0%)	70(0%)	540(0%)	251(0%)	202
広島	90(0%)	148(0.7%)	331(5.4%)	358(6.7%)	268
山口	8(0%)	292(2.7%)	310(17.7%)	342(14.6%)	334
徳島	20(0%)	99(0%)	318(8.8%)	236(9.3%)	216
香川	143(0%)	427(0%)	366(0.5%)	431(4.2%)	288
愛媛	172(0%)	300(0%)	358(0%)	366(0%)	194
高知	41(0%)	47(0%)	301(3.7%)	244(5.7%)	203
福岡	53(0%)	152(0%)	636(0%)	363(0%)	310
佐賀	23(0%)	60(0%)	349(0%)	432(0%)	409
長崎	45(0%)	67(0%)	315(0%)	302(0%)	257
熊本	61(0%)	127(0%)	304(0%)	320(0%)	259
大分	66(0%)	231(0%)	325(0%)	262(0%)	196
宮崎	56(0%)	326(0%)	316(0%)	445(0%)	389
鹿児島	22(0%)	151(0%)	305(0%)	247(0%)	225
沖縄	8(0%)	7(0%)	65(0%)	178(0%)	170
合計	18243(6.9%)	21422(6.5%)	28781(4.1%)	29215(4.2%)	10972

○ **令和3年度9月以降、各県へのヒアリングや対面会談等を実施し、サーベイランス検査数の増加を促進**
過去1年の検査数を令和3年9月末と直近で比較すると299頭以上に達している県が17県から30県に増加

経口ワクチンの散布体制

- 平成31年3月、岐阜県及び愛知県において、経口ワクチン散布を開始。
- これまでに豚熱陽性が確認されている県（沖縄県・佐賀県を除く）及びその隣接県等38都府県のうち、青森県を除く37都府県で経口ワクチン散布のための県協議会が設立され、千葉県を除く36都府県で散布を実施。
- 九州地域では沖縄県を除く7県が県協議会の設立等の体制整備に着手し、大分県が令和5年3月、宮崎県が令和5年6月に経口ワクチン散布に向けた県協議会を設立。

飼養豚陽性発生県【20都県】：赤色

野生イノシシ陽性発生県【34都府県】：赤色(沖縄・佐賀を除く) 橙色

経口ワクチン散布対象県【38都府県】：赤色(沖縄・佐賀を除く) 橙色 黄色

(うち斜線の県は令和5年9月4日までの散布実績なし)

経口ワクチン未対象県【9道県】：灰色 赤色(沖縄・佐賀のみ)

(うち斜線の県は経口ワクチン散布の事前準備を開始)

